



2025.7.25 No.52

発行 泊原発の廃炉をめざす会

〒060-0808
札幌市北区北8条西6丁目2-23-806
TEL 011-594-8454
FAX 011-594-8455
URL <https://tomari816.com>
E-mail info@tomari816.com
郵便振替口座 02790-1-100850

特集

積丹沖海底活断層

泊原発の廃炉をめざす会
弁護士事務局長 菅澤紀生 弁護士

海底活断層の想定が過少

近時の報道によると、国の新規性基準適合性審査では、北電の変更許可申請が認められる見込みである。本訴訟において、1審原告側が、2011年11月提出の訴状の段階から一貫して主張してきた「積丹半島西方断層」について、北電はその存在を否定している。もともと、北電は、規制委員会の指摘を受けて、積丹半島に近い場所に長さ22.6kmの海底活断層を仮定して基準地震動を定めた。国はこの仮定による基準地震

動の計算を適当と認めたということになる。

しかし、22.6kmの海底活断層の仮定というのは、根拠があるとは到底言えない。活断層の認定を専門分野とする変動地形学に基づき、渡辺満久教授らは、積丹半島西方断層の海底地形及び積丹半島西方断層を根拠に「積丹半島西方断層」を認定している。その長さは約100kmである。この長さは、海底地形を読み取ったものである。長さ100kmから計算されるマグニチュード8.2は、北電の仮定する22.6kmから計算さ

れるマグニチュード7.3に対して、地震エネルギーの差としては22.39倍にもなる。北電による海底活断層の想定は過少であり、基準地震動の設定に明らかな誤りがある。

海底音波探査

北電は、渡辺教授らが科学論文や学会発表で「積丹半島西方断層」を認定しているにも関わらず、何を根拠にその存在を否定しているのだろうか。それは、海底音波探査である。

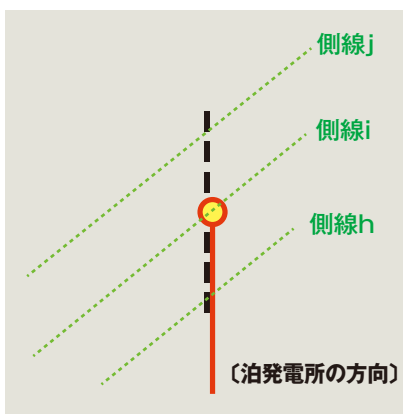
海底活断層の調査手法として、海底音波探査自体の有効性については、変動地形学者らも否定していないが、これに頼りすぎてはいけなと警鐘を鳴らしてきた。渡辺教授らは、2010年の論文で、2007年中越沖地震の評価にあたり、「音波探査記録に『見える・見えない』だけを根拠に、断層がないと結論することは、明らかに

に間違いである」としていた。2024年1月の能登半島地震は、この間違いを証明することとなった。海底音波探査を重視する立場にある産業技術総合研究所の岡村信行氏は、2010年の研究で、能登半島北部沿岸の海底音波探査の結果に基づき、海底活断層は、4つのセグメントに分割されるとした。すなわち、音波探査による海底の地層の画像に切れ目がない部分があり、その部分には断層はなく、20km程度の細切れの4つの断層であるとしたのである。これに対し、変動地形学者である後藤秀昭教授は、2012年、変動地形学的手法により、これらは連続する長い活断層であるとの見解を発表した。現実には、2024年1月の地震では、海底活断層の活動範囲は長さ約150kmに達した。上記の岡村氏は、能登半島地震後、「地震前の想定が不十分であったことになる」と認めている(科学2024(7))。



資料1

中田ら「日本海東縁海域の海底活断層の詳細分布図」
積丹半島の西海岸の海底地形と海岸地形を根拠に約100kmの海底活断層が認定される。

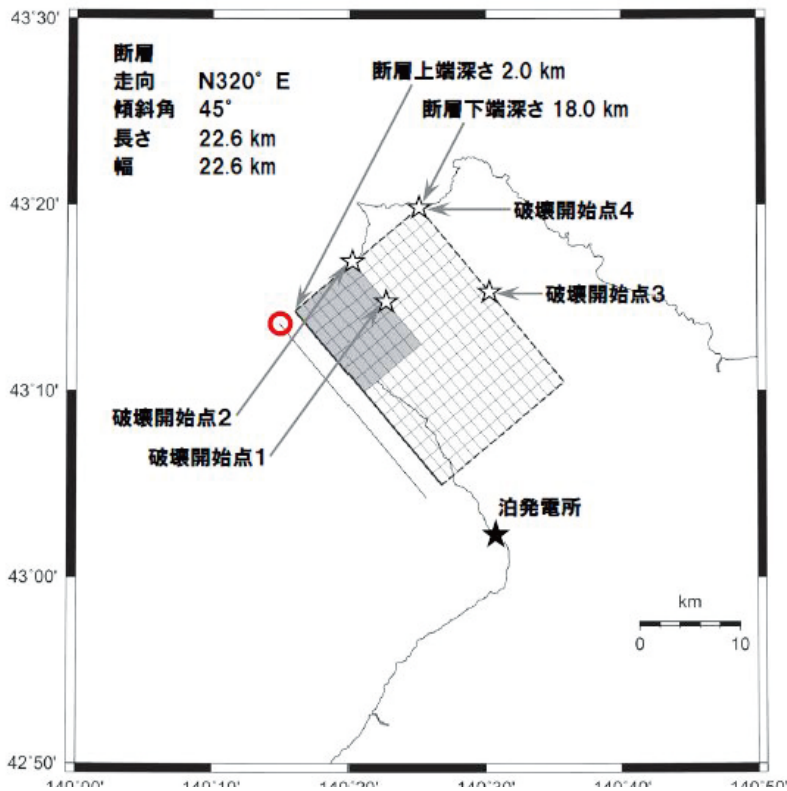


資料2

断層位置のイメージ

第1010回適合性審査会合資料130頁

北電が認める海底活断層は測線iの部分のみで測線j、測線hを超えない長さ11kmのものであるが、安全側に考えて(より危険であると仮定して)測線iの点から22.6kmの長さの海底活断層を仮定したとする。22.6kmの根拠は全く不明である。



資料3

第1010回適合性審査会合資料148頁

北電がここまでして渡辺教授らの見解を否定し、音波探査の画像で地層が切れてないから海底活断層はない、あるとしても測線iから仮定した短いものと拘泥するのは、なぜだろうか。100 kmもの長大な「積丹半島西方断層」を認めてしまつと、基準地震動の数値が跳ね上がるからではないか。残念ながら、地震動の数値を原告側で計算する術がない。しかしながら、北電がここまでこだわって否定するからには、基準地震動への大きな影響があると推認されるのである。

北電の仮定

変動地形学者である鈴木康弘教授は、2024年1月、日本活断層学会会長(当時)として、同学会ホームページで、改めて音波探査による地質調査が重視されることで、海底活断層は短く認定されがちで、能登半島北岸沖もそうであった、これにより大地震の危険性を見逃すことになる、と意見表明した。

hの海底地層の画像に切れ目がないとして、「積丹半島西方断層」の存在を否定する。しかし、規制委員会より、積丹半島の隆起は否定できない、測線iに怪しいものがあると指摘されたことを受け、測線iを起点として、短い孤立した海底活断層を仮定することにした。

では、22.6 kmという長さの根拠は何なのか。北電の控訴審準備書面(5)では以下のように主張されている。「断層長さ、断層幅及び地震規模については、震源断層が地震発生層の上端から下端ま

で広がっているものと安全側に想定し、地震発生層の厚さ(16 km)及び断層の傾斜角(45°)に基づいて断層幅を22.6 kmと設定した上で、断層幅と同じ長さを持つ断層面を仮定して、長さ22.6 kmと設定した」。この記載の内容は理解できない。なぜ、規制委員会がこのような仮定を適当と認めたのかも理解ができない。

2012年5月5日、全国で唯一稼働していた泊原発が停止しました。この日を記念して全道から再稼働に反対する団体(約200人)が集まり、集会とデモ行進を行いました。泊・核ゴミNO!道連が主催し廃炉の会が協賛。泊原発の再稼働反対や「核のごみ」の最終処分場の道内での建設反対を訴えました。

5月5日集会

奇しくも4月30日、3号機が新規制基準に適合しているとして規制委員会が泊原発の審査に事実上の「合格」を出したことから、再稼働反対だけでなく敷地内や海底活断層に関する審査が十分ではないとして規制委に対して抗議の声を上げました。



～映像で学ぶ核燃サイクルの危険と恐怖～

2025年8月23日(土) 上映会&トーク

会場／北海道高等学校教職員センター
大会議室(札幌市中央区大通西12丁目)

開場／13:00

- ◆1回目 13:30 開映 トーク終了 14:45
- ◆2回目 15:00 開映 トーク終了 16:15
- ◆トークは青森での裁判に通り続ける「核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団」の栗原 哲さん

参加費／1,000円(含む資料代)

特集

その時、私はどうする？

泊原発の廃炉をめざす会

元弁護士 市川 守弘 弁護士

はじめに

泊原発で福島第2原発並みの事故が起これたら、私たちはどうなるのでしょうか？最近、日本各地で地震が発生しています。もし、日本海で大地震が発生したら、泊原発から放射性物質が放出され、福島事故と同じかそれ以上の災害に見舞われ、誰が言えるのでしょうか。今日は皆さんと「その時、私は、私の家族は、どうなるのか」を考えてみたいと思います。

避難・防災計画は役に立つのでしょうか？

北海道や札幌市、泊近郊の自治体などは、泊原発で事故が発生した時の避難・防災計画を作っています。ただ、残念ながらこれらの計画は地震や津波による事故（複合災害といえます）を想定していません。人為的災害や「たまたま」事故が起これた場合の計画なのです。ですから、地震に見舞われた際には役に立つ計画ではありません。そのことを皆さんと見ていくことにしましょう。

北海道が想定する大地震が発生したとき

北海道は平成30年、北海道で地震が発生した時の被害の想定を

留萌沖でマグニチュード7.8の地震が発生			
後志	倒壊家屋	全壊	819棟
		半壊	3,617棟
	消失家屋		207棟
	避難者	避難所避難	13,455人
		避難所外	7,245人
石狩	死者	36人	重軽傷者 623人
	倒壊家屋	全壊	1,560棟
		半壊	9,588棟
石狩	消失家屋		574棟
	避難者	避難所避難	86,941人
		避難所外	46,814人
	死者	41人	重軽傷者 2,853人

地震動による被害想定結果

発表しました（平成28年に調査）。今年は日本海での地震による津波の被害想定も発表されました。北海道の調査報告書は2018年の胆振東部地震による厚真で震度7の地震をすでに想定するなどその信用性は高いものです。

北海道が想定する泊原発に影響を与えそうな地震は、①留萌沖地震（M7.8）、後志で震度7、石狩で震度6強。②日本海南海沖地震（M7.8）、後志で震度6強、石狩で震度6弱。③日本海北西沖地震（M7.8）、後志で震度5強、石狩で震度5強。ここでは、後志や石狩で被害が大

きそうな留萌沖地震を考えます。この地震が発生したと仮定して、原子力災害の避難、防災計画を論証していきます。

積丹町に住むAさん家族（夫婦と後継者の成人男子一人）と札幌市西区に住むBさん家族（夫婦と小中学校生の子ども二人）を例に避難を考えましょう。Aさんは短角牛という肉牛を飼育していますが、住宅は半壊、牛舎は全壊でした。Bさんはサラリーマンで中央区の職場にいました。1軒家に住んでいますが、液化化で全壊です。幸いAさん、Bさんの家族は全員無事でした。

泊原発で、使用済燃料貯蔵槽の水位を維持できない、放射性物質又は放射線が原子力事業所外へ放出。放射性物質又は放射線が原子力事業所外へ放出されるおそれ等が発生

積丹町のAさん家族は、屋内退避をしなければなりません。住宅が半壊のため、余震の中避難所へ避難しようとした。しかし、避難所は人が多く結局乗用車で寝泊まりするようになりまし。Bさんの妻と子どもたちも付近の住宅が燃える中、避難所に向かいました。町や市からは屋内退避を指示されていますが、Aさん家族もBさん家族も屋内退避する場所がありません。

Aさん家族は札幌市への避難を始める

行政は、500mSv/h（地上1m）が観察されれば数時間内を目途に区域を特定し、避難等を実施する（オーレー）と定めているので、放出されている放射性物質が積丹町でも500mSv/hを越えてきたので、避難を指示しました。積丹町の避難場所は西区体育館です。

札幌市内での一時滞在場所

町村名	一時滞在场所
泊村	南区体育館
岩内町	きたえーる
神恵内	東区体育館
寿都町	北区体育館
蘭越町	札幌コンベンションセンター
二セコ町	白石区体育館
積丹町	西区体育館
仁木町	手稲区体育館
余市町	つどーむ

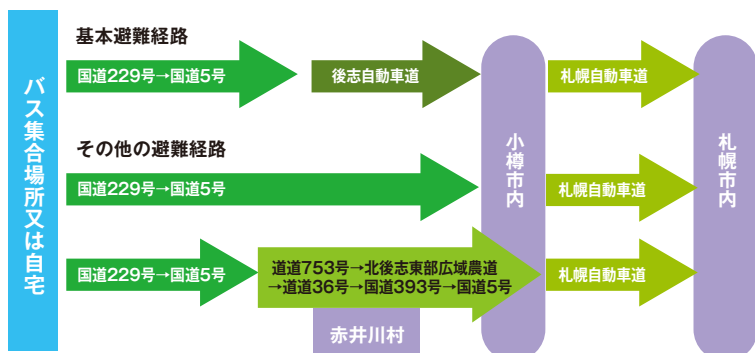
※一時滞滞場所が満員になった場合は、近隣小学校を滞滞場所として確保する

積丹町の避難経路は

国道を通り、後志自動車道から小樽へ。そして札幌自動車道から札幌へ向かいますが、道路は地震で寸断され、崩壊の危険が高いのです。Aさん家族は土砂災害で命を落とすか、放射能を浴びるか、究極の選択です。

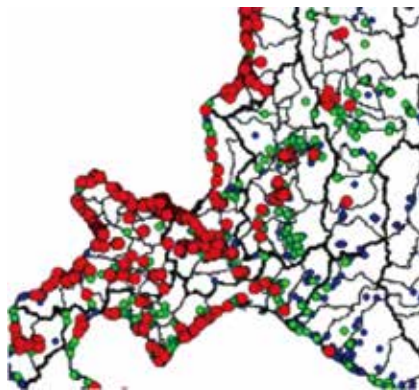
札幌市内では何が起これるのか？

Bさんは家族のもとに帰れません。帰宅困難者が11万6000人で駅周辺に集中しています。Bさんは徒歩で帰ることを考えましたが、余震と建物の倒壊が続き、火災で延焼する家も多く、国道5号線は危険にあふれています。家族が心配ですが、電話は通じません。街にはインバウンドで観光に来ている外国人も溢れています。観光客は市内の宿泊施設で受け入れられることですが、Bさんは一時滞滞場所に行くことにしました。そこでは水や食料が不十分でした。



か？
Aさんは、知事が要請した自衛隊が海から救助してくれるのを待つことにしました。しかし自衛隊はなかなか来てくれません。津波で港湾施設が壊れ救助船が接岸できないとのことですので。津波は地震後何度も来ていて危険です。

消防や自衛隊は来てくれるのか？

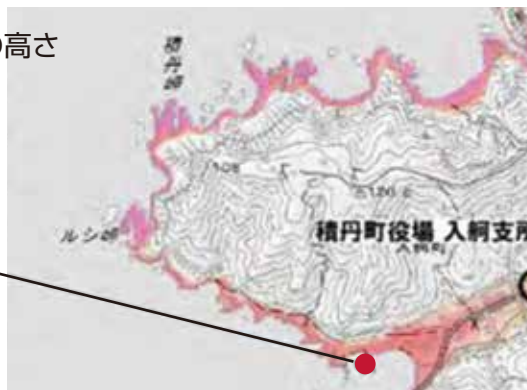


通行障害がある場所

橋梁 通行不能・通行障害		
後志	46か所	
石狩	58か所	
急傾斜地崩壊危険度		
後志	336か所	
石狩	67か所	

入舸漁港への津波到着時間と津波の高さ

入舸漁港			
No.	最大遡上高	±0.2m	第1波
④	6.70m	8分	10分
⑤	6.65m	8分	10分
⑧	12.94m	12分	19分
⑨	9.39m	13分	17分
⑪	12.64m	12分	20分
⑫	16.60m	12分	21分



ているのです（総務省の救助活動要領）。自衛隊員も500ミリシーベルト以上を被ばくすることはできませんから救助活動も制約されるのです。

Aさん家族は屋内退避もできず、どこかに避難もできず避難所の周辺で孤立するしかありません。

<参考資料>

北海道地域防災計画（原子力防災計画編）
札幌市地域防災計画（原子力災害対策編）
積丹町市域防災計画（原子力防災計画編）
北海道・平成28年度
地震被害想定調査報告書
北海道・日本海沿岸の地震・津波被害想定

国や北海道防災計画では500μSv/h（地上1m）が観察されれば数時間内を目途に区域を特定し、避難等を実施する（OIL 1）、200μSv/h（地上1m）であれば、1週間程度内に一時移転を実施する（OIL 2）とされています。

しかし、実際に複合災害が発生した場合、避難や一時移転が可能なのでしょうか。あなたならどうしますか？

国や北海道防災計画では

AさんやBさんの家族は避難できるのでしょうか？

札幌市は市内での被ばくを避けるために、一時移転という計画を持っていました。札幌市から別の場所に避難することです。ただ、その場所や避難手段は決まっています。どうすればよいのでしょうか？

泊原発からは放射性物質が放出され続けています。Aさん家族はどうなるのでしょうか？Bさんは家族と再会し、札幌市まで飛来する放射性物質から逃げることもできるのでしょうか？



ハイロの会のマスコット、イラネエザウルスは子どもたちに大人気でした。

（事務局）

立ち寄ってくれた方の中にも電気代が下がるのなら原発再稼働賛成と言う方や絶対に安全な原発はないから活動を応援していると言ってくくださる方など、色々な方が立ち寄ってくださいました。

原発の危険性を訴える活動は私たちの原点であり、未来への責任でもあります。廃炉になるまで続けます。

原子力規制委員会が泊原発3号機の安全対策について、事実上の合格にあたる審査書案を了承し、今年の夏までに正式な合格となる見通しとなりました。その中で原発の危険性を訴え、リーフの配布やティッシュを配り、署名活動も行い380筆が集まり、全部で7、318筆となりました。

2022年のこの日は、泊原発差止裁判で勝訴判決が出た日です。廃炉の会はこの日を記念して、チカホで泊原発の危険性を訴え、廃炉へ向けての取り組みを行う活動しています。「5・31勝訴記念どうする泊！」と題して10時から19時まで事務局員や賛同人の方々が広報活動を行いました。

5月31日 チカホイベント

2024年度活動報告会

2024年度の活動の振り返りと本年度の活動に向けた「活動報告会」を6月28日(土)札幌市の北海道高等学校教職員センターで開催しました。今回は第一部を講演会、第二部を活動報告会として行いました。

市川共同代表から「僕たちが十五歳の時はベトナム戦争が頭にあったが、今日の講演会を行うわかなさんの十五歳の体験はどうだったのかとても興味深い」との開会あいさつでスタートしました。

第一部 講演会

講演会は、わかなさんが「原発に翻弄された十五歳の私」と題して行われました。

わかなさんは当時福島県に居住し、2011年3月11日の中学校卒業式当日に東日本大震災を体験しました。暗黒の高校三年間を経て十八歳の時に自分の経験を他者に話せるようになり、その後北海道に移住。二十歳を数年過ぎてから講演活動を始めて現在に至っています。

「2011年3月11日に皆さんは何をしていましたか？」の問い

で講演はスタート。地震がおさまった後、家族間で今後の在り方を巡り議論。いったん山形に避難して4月に福島にもどり高校入学。5月中旬に山形に引っ越し別の高校に編入という経過を辿ったとのこと。

高校では不安を煽るという理由から、事故のことを語らない、マスクをしないなどということが暗黙の強制としてあったこと。主避難すると伝えた担任の返答は「非難するな、風評被害が広がる」。校長はあろうことか「やめろ、俺の首がとぶ」。政治家や御用学者の嘘と二枚舌。大人に対する不信感が炸裂します。そして友人とは「私たちこどもが産めるのか?」。これを十五歳の少女に言わせる現実。そして避難せず被ばくし続けた友に対する申し訳なさも抱え、青春でなく「黒春」だったと語ります。

あの時みんなが「危ない!」と思ったことが、時間と共に忘れられ、普通に帰ることの不思議さを指摘して最後に私たちにこう語りかけました。

「あきらめない。フクシマのことを自分ごととして。生きる覚悟をもって自分の意思で生きていく。世の中をこれ以上悪くしないために抵抗しよう。生きる覚悟と希望の光は私の中にも皆さんの中にもある。その光をもっと輝かせていこう!」。

第二部 活動報告会

講演会後の2024年度活動報告会は会員31名が参加して行われました。

まず問谷共同代表から2024年度の一般活動について、控訴審、ニュース発行、世話人会、地域連絡会の活動、衆議院会館でのキャロル久末さんの講演会、菅澤弁護士事務所局長を講師とする学習会、署名活動等について報告がありました。

続いて菅澤弁護士事務所局長から裁判経過報告があり、全国的にも厳しい状況にあること、今後の闘いは海底活断層の存否、避難の問題の2点で進めていくことになる、との説明がされました。また道議会「エネルギー特別委員会」の傍聴制限、北海道と北電が認識する津波の高さの相違について補足の説明がありました。

会計決算報告は担当の大倉世話人から説明があり、監査報告については監査人が欠席のため、5月14日付の監査報告書を代読し決算関連報告を終えました。

また活動方針案は市川代表から、(1)訴訟について(2)訴訟外での活動(廃炉の会独自活動/泊原発を再稼働させない・核ゴミを持込ませない北海道連絡会、核ゴミを考える北海道会議)での活動について説明がありました。続く2025年度予算案では、廣谷事務局長から前年度決算額に準じて予算案を作成したことが説明されました。

中村共同代表からは新年度の役員体制の説明があり、また市川代表から慰労をこめて本日参加の事務局員の紹介が行われました。

活動報告会の締めくくりとして意見交換を行い、最後に難波弁護士団長の「わかなさんの講演には心揺さぶられた。愛はどこにあるのか語られていたが、今日参加の皆さんはずっと活動に参加され愛を持ち続けてくれている。さらに皆さんができることを考えて共にガンバろう」との言葉で閉会となりました。

(事務局)



釧路連絡会代表 核ゴミ担当世話人
マシオン恵美香



十勝連絡会代表 世話人
中村廣治



泊原発廃炉訴訟弁護団 事務局長
菅澤紀生 弁護士



泊原発廃炉訴訟弁護団 団長
難波哲基 弁護士

第101回北海道電力定時株主総会報告

原子力防災避難・核「ミ」問題担当
釧路連絡会担当 世話人 マシオン恵美香

6月26日総会前の8時45分

から会場の札幌ビューホテル前での路上集会を行いました。集会には、20数名ほどの市民グループ、脱原発を公約にする政党関係者（政党は本年、社民党、共産党、れいわ新選組）が幟や横断幕を持参し、参加しました。

10時からの総会には、昨年より少し多い178名が来場。

総会では、インターネットでの議決権個数、株主数など詳しい議決権個数やインターネット議決の人数などは無報告。

会社側は事業報告と株主からの事前質問への回答を簡略に行い、株主の議案説明を促しました。その後、会場から会社や株主提案に対する質問を合計 10 名だけ受け付け議長（社長）が「十分審議を尽くした」と言い放ち、強引に採決を行い1時間50分ほどで総会を閉会しました。

個別株主からの会場内発言

（抜粋）

●北電に送電停止されている道民が10万件にもなっていることを何故公表しないのか、非人道

ではないか

●周波数修正、北本系連携をすればよいのではないか

●原子力賠償1200億円は2010年から変わらない額である。＊原子力の経済性は2010年の試算のまま

●原子力事業の損益分岐について物価高騰分を考慮し、核燃料、安全対策費などかかる経費を試算しなおすべきではないか

●能登半島地震の被害影響を安全対策にどのように生かしたのか 稼働中の原発をなだめられるのか

●核燃料再処理価格が当初予算に比較して5・9倍にもなっている

●子会社の社長が本会社の株主に総会に座っているのはおかしい 子会社を完全分離すべき

●揚水発電の使い方について

●容量市場から得られた資金は何に使ったのか 今度は何に使うつもりか

●新港では安全に船が係留できる保証があるのか

●役員の報酬を個別に開示しないのは何故か？

●株主提案権行使の阻害（行使に必要な個別株主通知受付票が証券会社の怠慢と郵便の土日休業のため期日に間に合わなかった） 名簿管理を他事業者（みずほ信託銀行）に任せている

●北海道電力株式会社の良いところ、強味は何か？ 寒冷、積雪に強い送配電

会社側の発言

事前質問・一般質問への回答

●安全対策総額はこれまでに5150億円、完成までの累計額は示していない。

2025年度は新たに1700

億円程度（防潮堤建築費、核燃料輸送用新港の設置、トンネル、搬入路建設）

●北電は今期195億4900万円もの核燃料売却益を得ており、核燃料資産額が減っているのかと思えば、

固定買い付け分（34億円）を上回る40億円も増加している。（会計の謎）

●北海道電力はプルトリウム資産332kgを保持している。

●3号機のプルサーマルを諦めていないと言いつつ、MOX燃料加工は事業者をお願いして

ず、

現在、北海道電力株式会社はMOX燃料を保持していない。

●電気料金値下げでただちに消費者に還元しない理由―自己資本比率を積み上げていく必要がある

（泊原発を稼働するために安全対策費や新港建設費に費用がかさむ）

●原子力事業の損益分岐は、競争の原理からお答えしない

＊これでは原子力事業が純利益を産むか、電力料金値下げで道民に還元できる事業なのかを判断できない！

●泊原発再稼働後の電気料金値下げの見通しは燃料価格などを観て適時適切に判断し、近日値下げ水準を公表するつもりだ。

7月1日に公表された議決権行使の臨時報告書によると、私たちの10議案は全て否決ながら、第12号議案「相談役・顧問の廃止」は過去最高の19.52%の支持率、第13号議案に至っては、2013年からの私たちの議案全体で最高支持率の32.38%もの会社側が無視できない最高支持率を得る結果を記録しました。



9時前から株主総会会場前で路上総会を行う

2025 臨時報告書 (2025年7月7日)

決議事項	議案	賛成(個)	反対(個)	棄権(個)	賛成率(%)	結果
5号議案	事業性・公共性・倫理性がない原子力事業からの撤退	72,444	1,199,472	112	5.61	否決
6号議案	会計原則違反の付け替えを止め、原発を含む巨額を投じる発電設備のライフタイムコストを明示する	75,253	1,196,653	127	5.82	否決
7号議案	泊原発沖の海底活断層に伴う地震動を変動地形学の知見で評価し直し安全対策に生かす	74,918	1,196,990	127	5.8	否決
8号議案	地熱発電の推進	80,402	1,191,518	112	6.22	否決
9号議案	コンプライアンス・ガバナンス体制強化 企業倫理委員会の在り方	80,741	1,191,182	127	6.25	否決
10号議案	大容量のバックアップ電源を必要とする原子力発電を「脱炭素電源」としない	71,129	1,200,791	112	5.51	否決
11号議案	北電ネットワークを完全分離する	72,671	1,199,255	112	5.62	否決
12号議案	相談役、顧問の廃止	252,242	1,019,699	112	19.52	否決
13号議案	役員報酬の個別開示	418,498	853,737	127	32.38	否決
14号議案	議決権個数の正確な係数	83,197	1,189,038	127	6.44	否決

「原発・核燃サイクルの中止を求めて」 省庁・全国市民・議員の院内集会

世話人 マシオン恵美香



福島、青森、北海道、関東、京都の活動家

院内集会は6月11日13時から衆議院議員第一会館大会議室で原子力防災避難に関する活動をされる全国各地の市民、議員13名、関係機関(原子力規制委員会/環境省、経済産業省、内閣府)が参加しました。

集会冒頭に、「22トンもの日本の余剰プルトニウムをどうするか」「核燃料政策を問う」という重いテーマで、核問題に詳しい翻訳家の窪田雅文さんを講師に迎えた基調講演がありました。

我が国の再処理事業は事実上、頓挫しており、アクティブテストだけでも深刻な環境破壊につながる状態であり、実用可能性が低いことは、当初から指摘されてきました。国は、すでに手のかかる使用済核燃料を国自ら決めた法律にある「全量再処理」さえも勝手に飛び越え、使用済核燃料をイギリスに無償で委譲する算段をしていました。数度にわたって国の派遣団が交渉。これに関する議員や市民の質問に対し、「わが国として譲渡

①避難計画の不備が改善されるまでは、泊原発を稼働しないこと。

②経口安定ヨウ素剤は平時から30キロ圏住民に配布しておくこと。そのほか5項目については、一年の半分が雪に閉ざされる東北や北海道にとって、一般自然災害でも必要な確認事項として除雪対策が重要とし、除雪要員の被曝防護、賠償に係る法の規定、避難路と運搬土の確保、除雪のための重機、ガソリンの備蓄状況の確認に加え、国は、災害対策予算など救援費用の臨時支出手続きを速やかに開始すること、救援の実働のために自衛隊の出動を迅速に決断することなどを求めました。

要望内容は北海道の原子力防災避難計画の実行性、妥当性を問うもので、避難や避難直後の住民の命と健康が損なわれないよう、ただちに措置して欲しい要望措置、主に7項目。

北海道として強調したのは2点、

後の再処理可能性や、最終的にどうするかについては問わない」などと文部科学省が無責任な回答をしたことにも大変驚きました。

要望書を読み上げる
マシオン恵美香 世話人

原発敷地内見学ツアーに参加して

事務局 加藤 浩道

3月、廃炉作業中の福島原発敷地内に入ることができたツアーに参加してきました。以下見学許可証、入構許可証、線量検査を受け、線量計を身に付けての見学での実感です。

海岸段丘から原発を見下ろして

海拔30メートルの管理棟から近くの見学地点に行くとも福島原発は海岸段丘を海岸沿いに20メートル削って津波を呼び込むように建設。津波の警告を無視し冷却水を汲み上げる費用軽減を優先したのが事故の大きな原因とはつきり実感した。

廃炉にはデブリを取り出すことが最低条件

説明では廃炉作業に出動している従業員は現在毎日4、300人。事業者名は『東電・福島第一廃炉推進カンパニー』。全て遠隔操作の22メートルの水中ロボットアームで取り出したデブリは耳かき一つ分。作業できるのは一人1日数10分、これが事故から14年後の現実。

汚染水安全神話へ

日本は世界で初めてデブリに触れた汚染水の海洋放出している。



海岸段丘の上から原発を見下ろす

廃炉終了の形とその時期

廃炉に向けての作業は果てしなく続く。しかし廃炉の最終形は法律では示されていない。また、廃炉費用も必要経費として電気代に上乗せだからか作業は下請けが淡々とのおんびり？とこなしている印象だ。

二キロ先の放出口から出ていまずと指さされても見えるはずもない。実験棟ではヒラメが汚染海水と普通の海水の2つの水槽で飼育。全く汚染水の影響がないと強調していた。凍土壁遮水壁は海側一例と陸側二列の計三列。しかしほとんど機能していないので海洋放出。

チャリティ散歩 ～藻岩・戦争の残したものの探訪～ に参加して

原発イラネエザウルス(原告)

「殉職者の碑」の発見だった。



市民建立「犠牲者の碑」の前で

後にし、深い森に深呼吸し野鳥の声を聴きながら、対面する下山者には廃炉ティッシュ等を手渡し頂上に向かう。頂上でお昼を食べた後スキー場横を下り「碑」に向かう。

日本の植民地だった朝鮮から来るを得なかった人達や生活に窮していた人達がタコ部屋に監禁され体罰、生き埋め、虐殺など残虐非道な仕打ちで「死」に追いやられたことが碑に刻まれている。

発電所と浄水場。市民になくてはならないインフラ整備がこのような犠牲の上に成り立っていたのだと知った今回のチャリティー散歩

だったがおまけはその碑から100mほどのところにある北海道電力建立の碑文

なき寒々とした「殉職者の碑」の発見だった。

チャリティー散歩特別編で藻岩山にあるアジア・太平洋戦争時代の高射砲跡地と、麓の北電藻岩発電所建設工事の犠牲者を悼み市民が建立した「藻岩犠牲者の碑」を訪れた。

藻岩山の登山道を登り始めてまもなく左手に見えてきた大きなコンクリートの台座。第二次大戦末期、米軍が上陸すれば北部軍司令部のある札幌が決戦場になると建設されたもの。木々の若葉の向こうに街が見える。資料を元に説明を受けて

控訴審第7回口頭弁論

2025年8月8日(金) 14:30～

札幌高等裁判所(札幌市中央区大通西11丁目)

報告会 口頭弁論終了後 ～16:30

会場 高等学校教職員センター(札幌市中央区大通西12丁目)

事務局ボランティア募集

事務局ボランティアさんもなかなか増えないため、イベント時などには、負担が大きくなっています。定期的にはムリだけど、出来る時には手伝えるという方など、事務局に申し出てください。

☎011-594-8454(事務局)